

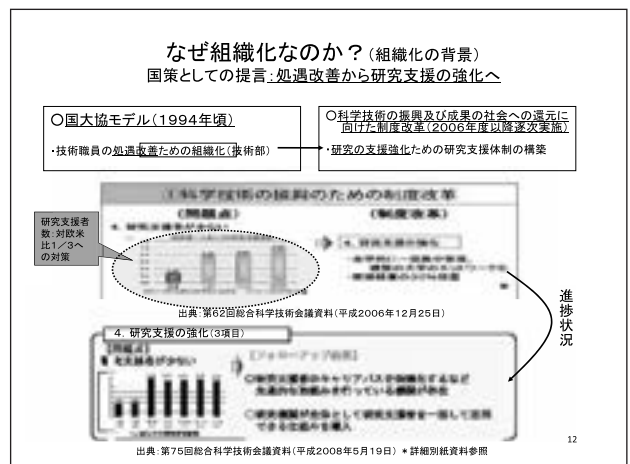
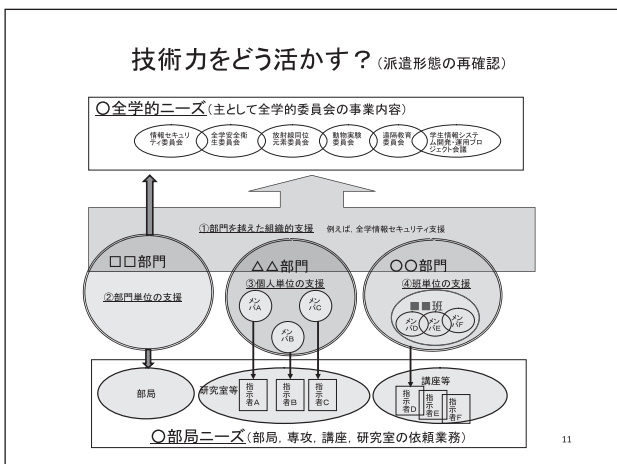
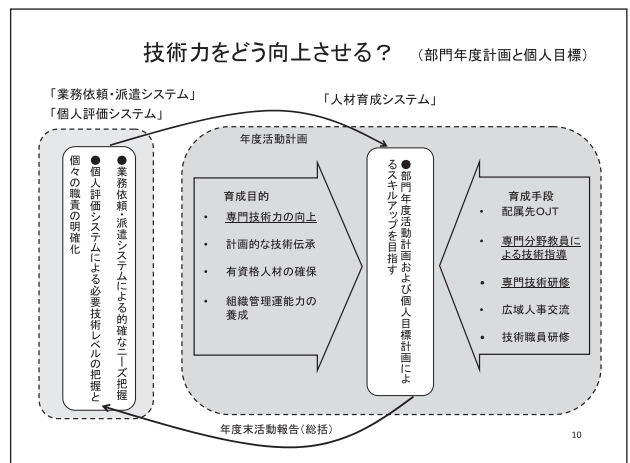
目指して欲しい技術者像(文献引用)

(キャリアパスのイメージ(技術的側面))

I型技術者	自分の専門をまず作る 原理・原則をしっかり学ぶ
T型技術者	専門以外の幅を広げ、広い視野を持つ
II型技術者	さらに専門を増やし、物事の本質を見抜く力を身につける
最終目標	その先は、もう一段上を目指す。

*標準キャリアパスイメージ図(案)に近いので引用

出典:「大学で技術者倫理を教えた学んだこと」細谷陽三著、技術士 2008.4



広大技術センターの進捗状況(その1)

(キャリアパスの明確化は、調査設置)
〔基本方針: 技術的側面と組織的側面をリンク、部門に適したキャリアパスの構築(P8参照)〕

1. 進め方(技術的側面): 充実な職務分析、先行例の情報収集など

部門	ニーズ	必要スキル	目標とするシブズ(例)	効果的手法(例)
情報部門	HINET2007運用支援	HINET2007の技術指導	HINET2007の運用処理 データ転送エンジニア、ネットワーク エンジニア(ネットワーク)の資格者	HMCでのOJT グループ勉強会 ・研修実施(講師)
	印刷機作成支援	HP作成コンサルテーション	Webデザイン技能取得者	・研修業務での実践 ・民間セミナー研修
	メディア編集支援	撮影、メディア編集&コンサルテーション	画像編集、映像編集スキル ・ベテラン	・研修業務での実践 民間セミナー研修 ・WebCT支援WG参加
	印刷サーバ/PC室管理支援	各種OS理解、アプリケーションインストール、バックアップ/リストア、ログ解析	・テクニカルエンジニア(システム管理) 資格者 ・サーバ/PC管理経験者	・HMCでのOJT ・民間セミナー研修 ・研修業務での実践
データセンター	データベースシステム構築・管理支援	SQLの知識・実用	・テクニカルエンジニア(データベース) 資格者 ・データベース構築・管理経験者	・民間セミナー研修 ・研修業務での実践
	安全衛生管理支援	第1種衛生管理者	・作業環境測定士 ・衛生工学衛生管理者	・グループ勉強会
環境管理部門	放射線施設管理支援	放射線施設管理および利用者教育	・放射線管理取扱主任者	・グループ勉強会 ・民間セミナー研修
医学系部門	病理標本作成支援	病理標本作製技術	・1級2級解剖師 ・臨床検査技師	・グループ勉強会 ・セミナー参加
理工学系部門	実験実習	実験実習指導管理、実習教材作成	・電気工事取扱主任者(電気関係 職業管理師資格) ・学芸能力	・グループ勉強会 ・セミナー参加
全部門共通	配属先の研究室・センター-必要の長が必る組織運用に必要な技術全般	必要と専門技術 組織運用の把握	・必要資格 ・組織運用の改善・提案の技術 ・組織内指導	・組織内教育

職務分析 13

13

2. 進め方(組織的側面): 職階・職責の実践、事務組織との連携、先行事例の収集 (処遇とのリンクには、管理能力は必要)

組織管理要件	技術員、技術主任、技術専門職員	技術班長	技術長	技術副統括、技術統括	効果的手法(例)
組織運営の基本知識	大学組織運営、技術センター組織運営、技術センター組織	○			・一般職員初任者研修 ・技術職員初任者研修
マネジメント	時間管理(業務時間配分)	○	◎	◎	・民間セミナー研修 ・個人目標管理トレーニング、月次報告セアリング
	人的管理(育成指導)		○	◎	・技術職員中堅者研修 ・個人目標管理トレーニング、月次報告セアリング
コミュニケーション	組織管理(人事管理、企画運用、組織運営・経費)		○	◎	・技術職員管理者研修 ・2年度活動計画プレゼン&総括報告会
	プレゼンテーション	◎	◎	◎	・技術研修会・研究会、学会発表 ・民間セミナー研修 ・ビデオ撮影
	カウンセリング		○	◎	・キャリアカウンセリング資格取得 ・民間セミナー研修 ・ハラスメント相談室講習

組織管理能力 14

14

広大技術センターの進捗状況(その2)

(研究支援者を一括して活用できるしくみに、ほぼ達成)

- 技術センターの中期計画
 - 教室系技術職員の配置については、全学的な人員の一括管理の方針により行う。
- 年度計画の最終成果
 - 「教育・研究を支える技術支援を、計画的・効率的・効果的に実行する組織の確立」
- 年度計画の基本方針
 - 「全学的な人員管理の方針の下、教室系技術職員については各部署等の意見・要望等を含めて、技術センター運営会議で限られた資源の効率的・弾力的利用を推進する。」

出典: 平成20年度国立大学法人広島大学中期計画及び平成16年度～平成21年度年度計画(二次案)

平成20年4月に部局主体から機能主体に改組
基本3システムで変化に柔軟な運営体制の確立

➔

広大技術センターは、技術職員の全学的組織化の先進組織

15

15

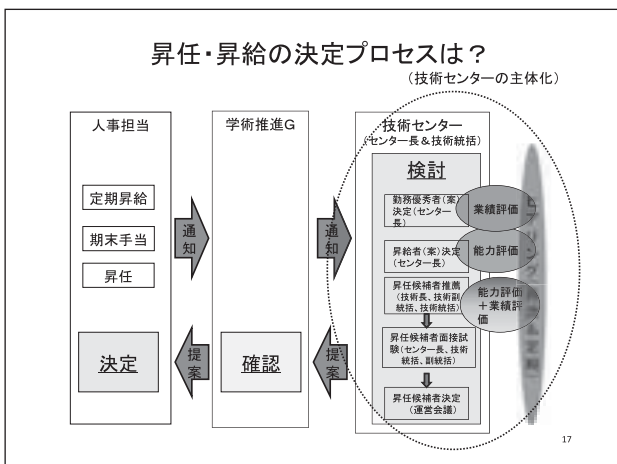
広大技術センターの進捗状況(その3)

(部門改組による成果)

- 職階・職責の明確化による、組織の機動性向上
 - 班長会議(これはまだ)、技術長会議、各部門会議の実体化
 - 昇任、昇給評価は技術センターが主体に
- 専門分野の職員集合化による、技術共有と組織的な技術総合力の向上
 - 全6部門による全学情報セキュリティの維持管理支援
 - 情報部門によるWebCT支援
 - 環境管理部門における配属先を越えた放射線管理
 - 医学系部門における配属先を越えたプレバート作成技術共有
 - 工作部門における理学部・工学部の施設を越えた金属加工処理

16

16



17

現状課題と今後の重点目標

(課題と目標の共有)

- 現状課題
 - 職責に見合う処遇改善
 - 運営費の担保
 - 外部資金獲得への意識改革、課金運用の検討
 - 配属先部局との調整
 - 配属先原資による出張旅費、PC購入等
 - 配属先教員の技術センター組織運営への要する理解
 - 研究室管理設備の全学的利用への協力調整
 - 労務管理
 - 遠隔地対策・月報運用の有効活用
 - 時間外労働:TA、契約職員の採用検討
 - 技術センター居室確保
- 今後の重点目標
 - 教員組織、事務組織に次ぐ、第3組織としての全学的な技術支援組織の早期確立
 - 外部評価実施
 - 安定的技術伝承の確立
 - 個々の専門技術の向上
 - 地域貢献
 - 外部資金の獲得
 - 中国・四国技術職員代表者会議の機能化

18

18

まとめ

- 22年度の本格運用に向けて、今後様々な局面で、技術センターの真価が問われます。
- 共通認識を持って、技術センターの定着化へ、一丸となって取り組みましょう。
- 広島大学技術センターは、全学組織化の先進組織として今後益々、注目されるでしょう。
- 組織化のみが先行するイメージとなってしまうのは、技術支援組織としては本末転倒です。
- 専門技術者集団としての本分を忘れずに、各々しっかりと技術力を高め、研究・教育・地域貢献を担っていきましょう。
- ご協力よろしくお願いします。

ご静聴ありがとうございました。

19